

包括支援センター」を強化し、各自治会福祉部や老人クラブ等と医療・福祉の連携を具体的にすすめる。「地域福祉」の充実に努力しています。

質問 小中学生の「自然体験」の状況と今後の推進策について。

市長 種山高原や衣川旅行村など恵まれた自然に育ちながら「体験活動」が十分とはいえない現状です。今後は夏休み等を利用して社会教育の面からも、地域連携をすすめる。地域の教育力の協力を得て計画的に「体験活動」をすすめていきます。

質問 学校基本調査結果が発表されたが、奥州地区の「卒業後の状況と今後の指導の重点」について。



衣川自然塾で活動する子ども達

市長 調査結果は県平均に近く、大学進学率が三十七％に上昇してきているが全国的には下から二位子どもたちが希望する進路達成ができるよう、授業力を高め学力向上の具体化をはかっていきます。

羽黒山の歴史公園化について



さとう けんじゅ
佐藤 建樹
議員

質問 平成十七年九月十七日、アテルイ・モレの慰霊碑が建立されました。羽黒山の歴史公園化について所感をお伺いします。

文化遺産とは永遠に保存したいものを意味します。その時代の生き方が現れています。古の日高見の国は時を経て奥州市になりました。奥州市原点のシンボルとして羽黒山について、市長、教育委員長の見解をお伺いします。

市長 羽黒山をエミシのシンボルとする気運が高まっているものと認識しています。

市といたしましても、市民の運動と連携しながら新たに誕生した奥州市の歴史の象徴として、地域に位置づける所存であります。

羽黒山この地域は、神社と民有地の有る事を考慮し当面は地元、地区や市民団体と共に、アテルイ



アテルイ・モレ顕彰碑羽黒山頂（水沢区）

やエミシを象徴する地域として、ランドマーク的に環境の保全や活用の有り方を検討します。

教育委員長 周知遺跡でありますが、土木工事等案件が発生した時点で、発掘調査を実施し遺跡の性格等解明するよう、努めてまいりたいと思います。

福祉・教育・市民のくらし優先の施策で定住人口の増加を



おいかわ よしお
及川 善男
議員

質問 市町村の体力を測る物差しの一つに、収入全体に占める市

税や使用料、手数料等の自前の財源比率である自主財源比率があります。合併前の五市町村の自主財源比率は、水沢市が四十五・四％、江刺市は二十八・一％、前沢町は三十四・五％、胆沢町は二十五・五％、衣川村は十八％です。奥州市の自主財源比率はいくらですか。また、旧水沢市が、住み良い街ランキングで全国的に高位にあったのは、医療や教育、福祉施策等が評価されたものです。奥州市においても、子育て支援やきめ細かな教育施策、医療や福祉の充実などで定住人口が増加し、安定的に自主財源を確保できるまちづくりが重要ではありませんか。

市長 奥州市の自主財源比率は、平成十七年度が三十三・一％、平成十八年度は三十二・一％になる見込みです。自主財源比率の向上を目指してまいります。

質問 障害者自立支援法の施行にともない、利用者は一割負担をしなければなくなり、その一方、自治体の負担が軽減されました。奥州市の影響額はいくらですか。またそれを利用者や施設の支援のために還元すべきではありませんか。

市長 奥州市への影響額は、昨年と今年の比較で約月額一五〇〇万円です。支援策については、さらにつめていきたいと思っています。